

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

## 800

2021年5月16日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax 3806-9246  
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
Eメール: アドレス  
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・  
話題など...横山幸次区議  
のホームページをご覧ください。

## 75才以上のコロナワクチン接種が開始へ 予約受付は17日～、接種は24日～です

### ワクチン 接種は...

#### 荒川区ワクチン接種申し込みなどのスケジュール

5月12日	75歳以上の高齢者(25,000人)へ接種券を郵送
5月17日	75歳以上高齢者のワクチン接種の予約を開始
5月24日	集団接種会場において高齢者の接種を開始(集団接種)
5月26日	65歳以上75歳未満高齢者(24,000人)へ接種券を郵送、予約を開始

#### 荒川区ワクチン接種予約センター

0120-027-030

午前8時30分～午後5時15分 土・日・祝等を含む



75歳以上2万5千人分のワクチン2回分は確保(区)区民への正確な情報提供と丁寧な接種支援が必要です

荒川区でも75歳以上の方へのワクチン接種券の発送が始まりました。他の自治体で何十回電話してもつながらない、ネットがパンクしたなどの報道もあり不安の声が多く聞かれます。予約開始当初は、混み合うことが予想されます。必要なワクチン量は確保されていますので、必ず接種できます。ワクチンがなくなることはないのです。

予約から接種までの手順:  
5月12日に75才以上の方に接種券と予約票が郵送されます。  
5月17日から接種予約開始  
電話かインターネットで接種会場及び接種日(1回目・2回目)をご自分で選んで予約します。  
:(必ずメモしておく)

5月17日からの接種予約開始  
電話かインターネットで接種会場及び接種日(1回目・2回目)をご自分で選んで予約します。  
:(必ずメモしておく)

医師の問診・診察を受け、ワクチンを接種します。  
アレルギー反応等の確認のため15分～30分経過観察で会場を待機します。  
以上のような流れです。  
うまく予約ができない、インターネットに不慣れなど、お困りことがあればお気軽にご相談ください。

### 予約受付、会場への交通手段、個別接種など支援が必要です

「電話やネット予約ができるかな」「近くの医院でできないの」「足が悪く会場まで行けない」...様々な不安の声が寄せられています。

荒川区は、送迎、巡回接種などが出来ないか検討中ようです。また近くの医療機関での個別接種は、医師会と調整検討中とのことです。

すでに多くの区で個別接種が実施され、世田谷区など区施設で職員が予約をサポート、国立市など接種会場までのタクシー代補助を行っている自治体もあります。

安全でかつ希望者が気軽に安心して接種できるための体制の整備と支援の具体化が急がれています。

みなさんのご意見をお寄せください。



困ったことなどお気軽にご相談ください (03)3895-0504 横山事務所

お困りごとなど電話、ファックス、メールなどでお気軽にご相談下さい。  
裏面 コロナ対策区補正予算、区の制度...など

定例法律相談会  
6月7日(月)  
横山事務所  
18時～20時

弁護士と横山区議が相談をお受けします。生活相談は、随時受付しています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

まづの話題あれこれ  
子どもたちが作った鯉のぼりが尾久の原公園に  
コロナ禍だからこそ子どもたちに最善の利益を

5月10日の夕方、ふらつと尾久の原公園に立ち寄りて見ました。すると、いり口付近の公園事務所前の柵に「TOKYO2020」の横断幕の横に大きな鯉のぼりが飾ってありました(10日まで飾っていたようです)。胴体は、一枚の布に子どもたちが描いた絵の集合体でできていました。子どもたちは何を思って描いたのでしょうか。コロナ禍で、つらい思いをした事もあつたはず。子どもたちの命と未来を守っていくことは、大人の責任です。しかし、子どもの権利条約にうたわれている「子どもの最善の利益」がしっかりと実現されているでしょうか。こどもの日前後に気になる調査がいくつか出ています。コロナ禍で



横山幸次

# 荒川区の コロナ対策

## 区の補正予算約8億円…(98%が国・都の財源) ワクチン接種と検査拡大となっています

2021年度補正予算第一回(千円未満切り捨て)

高齢者サービス等事業所PCR検査補助	8448万円
都事業 都支出金6952万円 区負担1496万円	
ワクチン接種事業	7億1229万円
全額国庫支出(接種予算は本予算との合計16億6700万円)	
合計	7億9677万円

接種会場運営(株)JTB委託	3億5600万円
医師派遣(MRT委託)	1億4000万円
看護師派遣(MRT委託)	2億7200万円
医師会委託	5億6000万円
コールセンター予約システム (株)両備システムズ委託	2億1000万円
集団接種会場使用料	8000万円
郵送、電話、消耗品など	3700万円
注射器など廃棄物処理費	1200万円
合計	16億6700万円

### 区が「宅配ボックスの設置費」を助成します

区がエコ助成に「宅配ボックス設置費」を加えました。

**助成内容** 設置費の2分の1

上限は区外事業者施工3万円、区内事業者施工5万円

**助成条件** 区内に住所を有する個人、事業者、マンション管理組合(1建物1申請が原則、集合住宅は共用のみ)

一般財団法人ベターリビングの「B/Lマーク証紙」表示製品

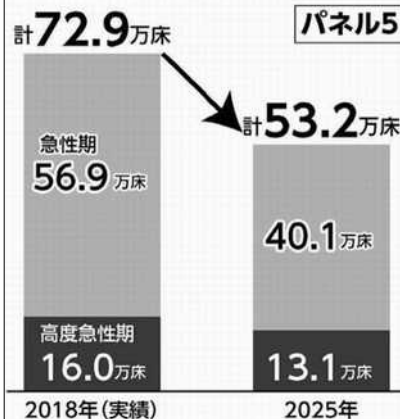
問合せ 荒川区環境課まで



### 今週のデータ コロナ禍でベッド削減や 高齢者医療引き上げの異常

減か  
した  
病  
院  
削  
り  
ま  
す  
と  
し  
て  
い  
ま  
す  
。 政  
権  
の  
自  
公  
の  
進  
め  
ら  
れ  
て  
い  
ま  
す  
。 一  
方  
で  
コ  
ロ  
ナ  
禍  
で  
ベ  
ッ  
ド  
削  
減  
を  
推  
進  
し  
て  
い  
ま  
す  
。 確  
保  
を  
お  
願  
い  
し  
な  
が  
ら  
、  
同  
時  
に  
ベ  
ッ  
ド  
削  
減  
を  
推  
進  
し  
て  
い  
ま  
す  
。 削  
減  
を  
推  
進  
し  
て  
い  
ま  
す  
。 削  
減  
を  
推  
進  
し  
て  
い  
ま  
す  
。

地域医療構想による高度急性期・  
急性期病床の削減



コロナの最中に、菅政権は、急性期ベッド20万床削減推進法案を通すとしています。一方でコロナ禍でベッド確保をお願いしながら、同時にベッド削減を推進しています。削減を推進しているのは、全額国庫で補助金を出し、その財源は消費税増税分をあてるというのです。いまやるべきは、医療の充実強化、そして消費税の減税ではないでしょうか。

緊急事態宣言が延長されましたが…検査の拡大とともに区の独自対策は？暮らしや事業への支援が必要では！

4月26日の荒川区議会閉会会に2021年度補正予算(第一回)が提案され、可決されました。

約8億円の補正予算(全会一致で可決)は、全額国費のワクチン接種の上乗せ分と東京都の高齢者・障害者サービス事業所の従業者などへの検査経費の補助事業(全額都費 一部区独自)を対象を拡大した分を区費で8400万円計上)となっています。いずれも必要な事業です。しかしその後も感染拡大が続き、変異株の増加、医療の逼迫、旅行需要が大きく落ち込む中、ワクチン接種業務に大手旅行会社(日本旅行・JTB・近畿日本ツーリストなど)が予約の受け付けや接種会場の運営などの事務を自治体から受託する動きが広がりました。荒川区もJTBに委託しました。(自衛隊の大規模接種センターも37億円で大手旅行会社、人材派遣会社などに委託)

区が「宅配ボックスの設置費」を助成します

区がエコ助成に「宅配ボックス設置費」を加えました。

**助成内容** 設置費の2分の1

上限は区外事業者施工3万円、区内事業者施工5万円

**助成条件** 区内に住所を有する個人、事業者、マンション管理組合(1建物1申請が原則、集合住宅は共用のみ)

一般財団法人ベターリビングの「B/Lマーク証紙」表示製品

問合せ 荒川区環境課まで

区が「宅配ボックスの設置費」を助成します

区がエコ助成に「宅配ボックス設置費」を加えました。

**助成内容** 設置費の2分の1

上限は区外事業者施工3万円、区内事業者施工5万円

**助成条件** 区内に住所を有する個人、事業者、マンション管理組合(1建物1申請が原則、集合住宅は共用のみ)

一般財団法人ベターリビングの「B/Lマーク証紙」表示製品

問合せ 荒川区環境課まで

### 感染症拡大防止対策に関する補助金・助成金…

東京都の感染症対策助成、荒川区の感染対策設備投資補助の制度は、6月末が申請締切です(都制度は、4月末申請が6月末に延長)。どちらも売上減少等の条件はありません。



荒川区は、区内中小事業者の相談窓口を引き続き区役所内に設置し、区職員、中小企業診断士など専門家が対応しています。電話での相談も行っています。(詳細は下囲み)

**荒川区 コロナ感染症に関する中小企業相談窓口**

**期間** 4月1日から6月30日まで 土、日、祝日除く

**受付時間** 午前10時から午後4時まで (予約不要)

**会場** 産業経済部会議室 (区役所本庁舎6階)

**対象** 区内中小企業、NPO法人など

**電話** 03-3802-3640